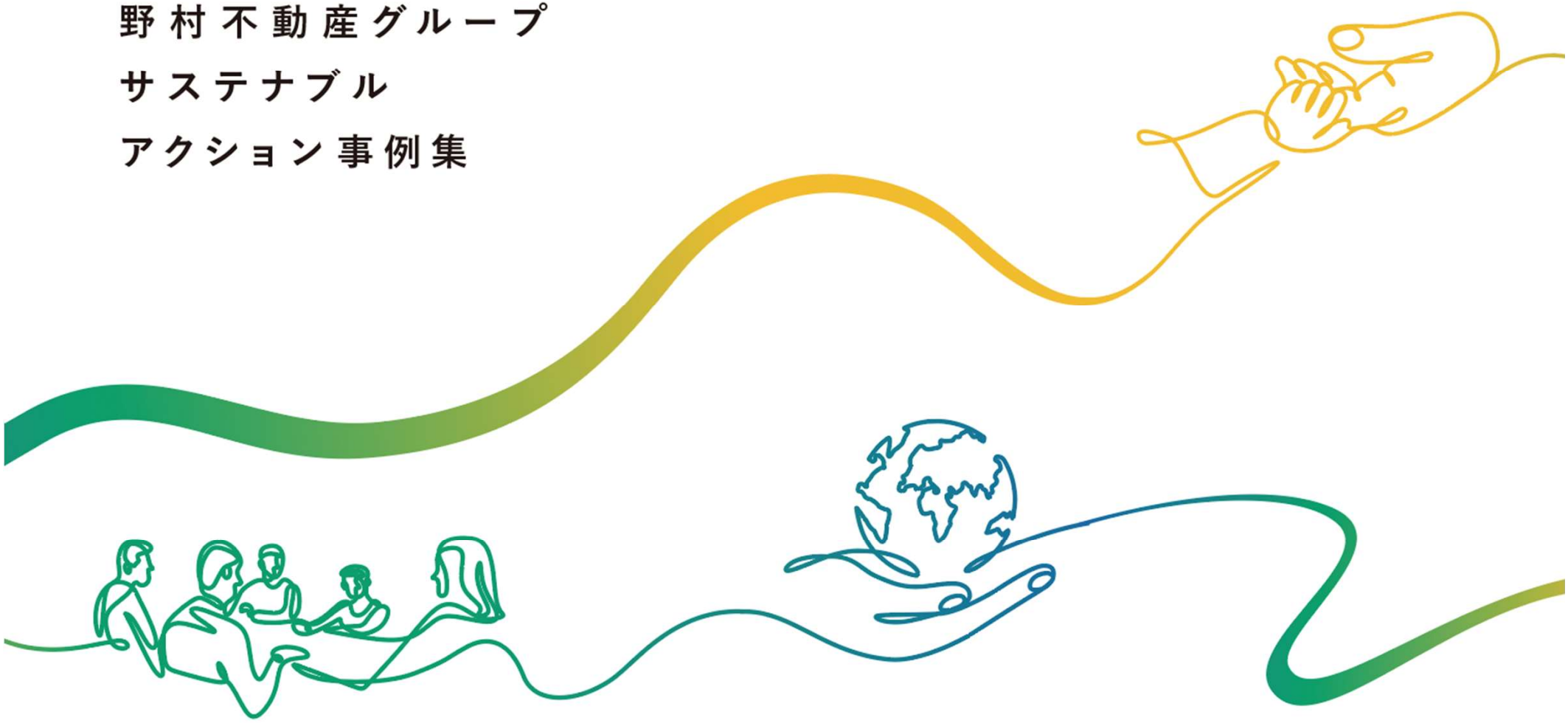
野村不動産グループ
サステナブル
アクション事例集



あしたを、つなぐ
野村不動産グループ

2025.9.30

目 次

3 グループ構成
4 主要事業
5 野村不動産グループ　サステナビリティ関連方針
6 野村不動産グループの目指す姿
7 グループ企業理念・行動指針・サステナビリティポリシー・マテリアリティ
8 価値創造プロセスにおける経営計画の位置付け
9 サステナビリティポリシー、マテリアリティ、計測指標（KPI）策定のプロセス

15 サステナビリティポリシー　人間らしさ
32 サステナビリティポリシー　自然との共生
63 サステナビリティポリシー　共に創る未来

78 受賞
85 外部評価・イニシアチブ
90 数字で見るサステナビリティ

92 編集方針

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の取組みを中心に、一部、過去の経緯や2024年4月1日以降の活動、将来の活動予定についても記載しています。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

グループ構成

（注）一部事業会社においては、設立年以降に統合ならびに商号変更を行っています。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

主要事業

デベロップメント分野

住宅

<主要事業>

マンション・
戸建住宅の
開発・分譲

主要なブランドなど

PROUD
PROUD SEASON
PROUD FLAT
OHANA
OUKAS

都市開発

<主要事業>

オフィスビル・
商業施設・
物流施設・
ホテルの開発

フィットネス
クラブ運営

主要なブランドなど

pmo
H1O
H1T
Landport
GEMS
McFULL
MEGALOS
NOHGA HOTEL
SoCoLa
ルテホの庭 HOTEL NIWA TOKYO

海外

<主要事業>

マンションの
開発・分譲

オフィスビル等の
開発・賃貸

主要なブランドなど

サービス・マネジメント分野

資産運用

野村不動産プライベート投資法人
NOMURA REAL ESTATE PRIVATE REIT, INC.

LOTHBURY Investment Management

<主要事業>

REIT、
私募ファンド等を
対象とした
資産運用

主要なブランドなど

MASTER FUND
野村不動産マスターファンド投資法人

野村不動産プライベート投資法人
NOMURA REAL ESTATE PRIVATE REIT, INC.

仲介・CRE

<主要事業>

不動産仲介・
コンサルティング

主要なブランドなど

野村の仲介+
REALIA
ネットで住みかえ ノムコム
nomu.com

運営管理

<主要事業>

マンション・
オフィスビル・
教育施設等の
管理事業

主要なブランドなど

re:Premium
re:Premium Duo

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

野村不動産グループ　サステナビリティ関連方針

各方針の位置づけ

当社グループ企業理念及び上位方針

グループ企業理念　**あしたを、つなぐ**

中長期経営計画

野村不動産グループ2030年ビジョン
まだ見ぬ、Life & Time Developer へ
― 幸せと豊かさを最大化するグループへ ―

サステナビリティ推進

サステナビリティポリシー
Earth Pride

サステナビリティポリシー

サステナビリティポリシー
Earth Pride
地球を、つなぐ

人間らしさ　自然との共生　共に創る未来

マテリアリティ

社会と社員
- ダイバーシティ&インクルージョン
- 人権

気候変動と自然環境
- 脱炭素
- 生物多様性
- サーキュラーデザイン

野村不動産グループ　調達ガイドライン

サステナビリティ関連方針

- 野村不動産グループ D&I推進方針
- 野村不動産グループ 人権方針
- 野村不動産グループ 生物多様性方針

推進体制

- ウェルネス・D&I推進委員会
- サステナビリティ委員会
  - 人権分科会
  - 環境分科会

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

野村不動産グループの目指す姿

グループ企業理念「あしたを、つなぐ」のもと持続的な成長を実現すべく、当社グループが目指す姿として、野村不動産グループ2030年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developerへ －幸せと豊かさを最大化するグループへ－」、サステナビリティポリシー「Earth Pride －地球を、つなぐ－」（2050年のありたい姿）を定めました。また、併せて、2030年（2031年3月期）をゴールとした、財務目標及び重点課題（マテリアリティ）・計測指標（KPI）も策定しています。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

グループ企業理念「私たちの約束」

あしたを、つなぐ

私たちは、人、街が大切にしているものを活かし未来につながる街づくりとともに
豊かな時を人びとと共に育み社会に向けて、新たな価値を創造し続けます。

行動指針「私たちが大切にすること」

お客様第一の精神　独創的発想による新たな価値創造　挑戦者であり続ける姿勢
社会と共に成長していく自覚　活き活きと働くウェルネスの実現

サステナビリティポリシー（2050年のありたい姿）

Earth Pride
地球を、つなぐ

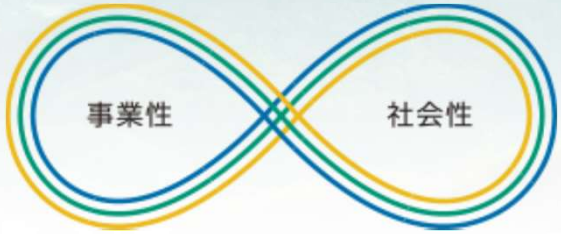
人間らしさ　自然との共生　共に創る未来

2030年までの重点課題（マテリアリティ）

社会と社員
- ダイバーシティ＆インクルージョン
- 人権

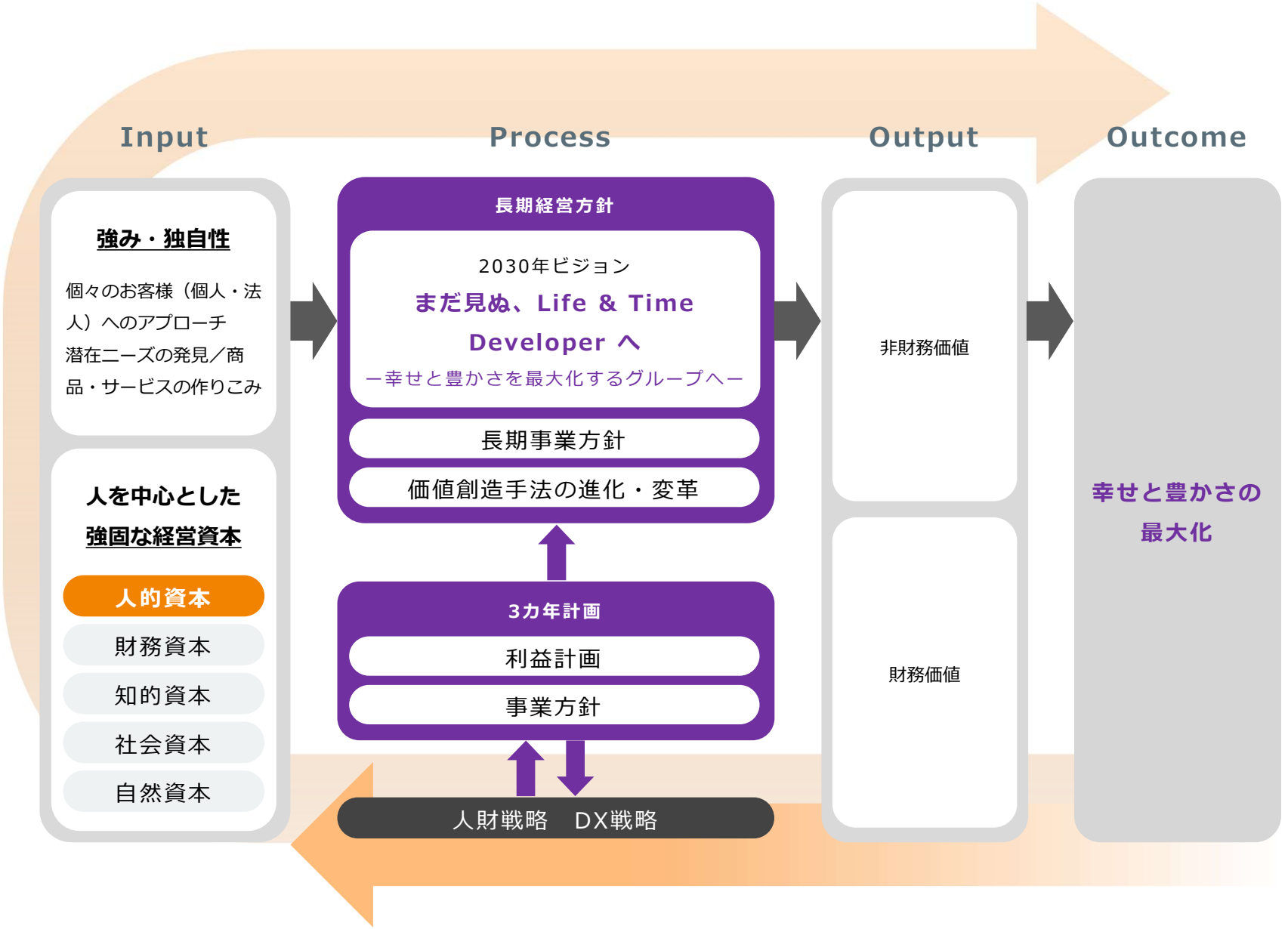
気候変動と自然環境
- 脱炭素
- 生物多様性
- サーキュラーデザイン

野村不動産グループは、事業性と社会性をひとつのものとしてとらえ、
事業活動において、配慮すべき社会課題やステークホルダーのみなさま
の期待に向き合い、サステナビリティの取組みを推進しています。



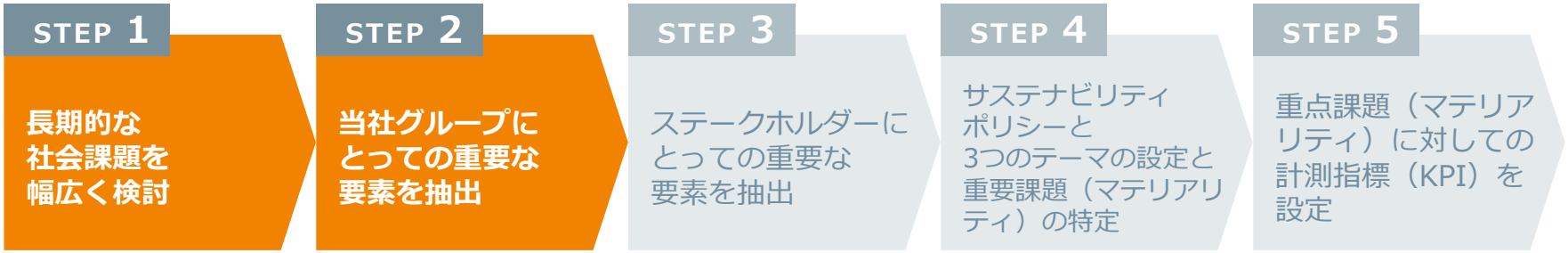
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

価値創造プロセスにおける経営計画の位置付け



© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナビリティポリシー、マテリアリティ、計測指標（KPI）策定のプロセス



STEP1. 長期的な社会課題を幅広く検討

国際的ガイドラインやESG外部評価アンケート、外部コンサルティング会社からの情報を参考に、地球環境・社会課題・技術動向を含めた長期的な将来の見通しについて検討し、当社事業との関連性が高い社会課題を抽出。

STEP2. 当社グループにとっての重要な要素を抽出

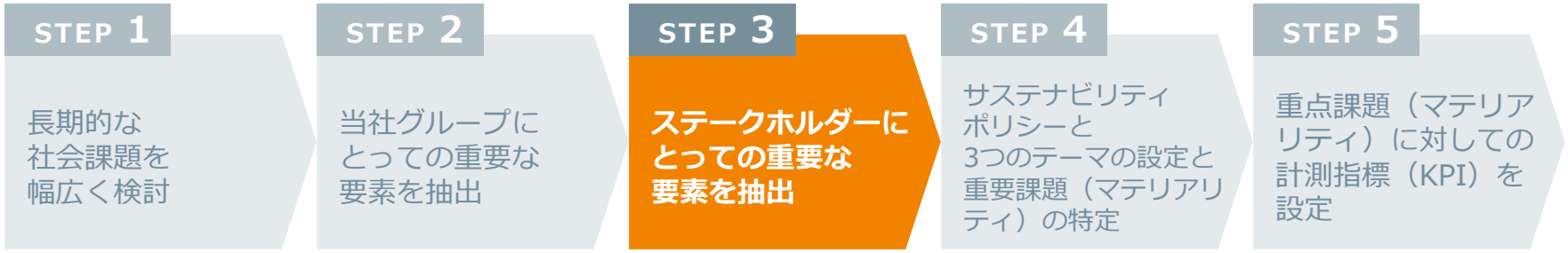
STEP1で抽出した社会課題を踏まえて、「どのような価値を提供したいのか」「どのような会社と思われたいのか」などについて、グループの若手・中堅社員向けワークショップ（183名参加）を開催し、12の項目を抽出。さらに、グループのマネジメント層（部長、課長クラス）を対象にワークショップ（214名参加）を開催し、12項目に対するスコアリングを実施。

抽出した12項目

循環経済（社会）への貢献	脱炭素社会への貢献	自然環境との共生
健康で快適な暮らしの提供	スマートシティの創造	安心・安全な街づくり
独自性のある地方創生への貢献	将来社会に向けた幸福・尊厳の追求	共創・オープンイノベーションの社会実装
ダイバーシティ＆インクルージョンへの貢献	クリエイティビティ・感性の醸成	市場創出に向けたルール・規格形成

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナビリティポリシー、マテリアリティ、計測指標（KPI）策定のプロセス



STEP3. ステークホルダーにとっての重要な要素を抽出

サステナビリティ専門家、機関投資家、取引先、お客様などのステークホルダー（41名）に対して、当社グループに期待すること、当社グループが対応すべき社会課題という視点で、抽出した12の項目に対するスコアリングを依頼し、意見を収集。

意見を収集したステークホルダー	人数	意見を収集したステークホルダー	人数
サステナビリティ専門家	10名	取引先（R&Dにおける学術機関）	4名
機関投資家	5名	取引先（コンサル会社）	2名
金融機関	3名	JVパートナー	1名
顧客（テナント企業）	3名	内定者	3名
顧客（分譲マンション入居者など）	4名	従業員組合	1名
取引先（建設会社、設計事務所）	5名	合計	41名

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナビリティポリシー、マテリアリティ、計測指標（KPI）策定のプロセス

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5
長期的な社会課題を幅広く検討	当社グループにとっての重要な要素を抽出	ステークホルダーにとっての重要な要素を抽出	**サステナビリティポリシーと3つのテーマの設定と重要課題（マテリアリティ）の特定**	重点課題（マテリアリティ）に対しての計測指標（KPI）を設定

STEP4. サステナビリティポリシーと3つのテーマの設定と重点課題（マテリアリティ）の特定

STEP2、3のスコアリング結果を踏まえて、経営層へのアンケート（延べ20名）を実施。さらに、複数回にわたるサステナビリティ委員会（委員長：野村不動産ホールディングス代表取締役社長 兼 グループCEO）での議論を経て、サステナビリティポリシー（2050年のありたい姿）と3つのテーマ、2030年までの重点課題（マテリアリティ）を策定し、取締役会へ報告。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナビリティポリシー、マテリアリティ、計測指標（KPI）策定のプロセス

STEP 1 → STEP 2 → STEP 3 → STEP 4 → STEP 5

野村不動産グループのマテリアリティ

マテリアリティ	ステークホルダー	重要な理由	当社グループのアプローチ
ダイバーシティ&インクルージョン	従業員、サプライヤー、お客様、地域コミュニティ	● さまざまなバックグラウンドや価値観を持つ多様な人材が、お互いを受け入れ、尊重し合い、それぞれが能力を最大限に発揮する状態の組織を目指すことが、当社の持続可能な成長には重要	● 人や街・コミュニティを未来へつなげていく企業グループとして、多様な人々のバックグラウンドや価値観を尊重したライフスタイルの実現を目指します
人権		● 社内外の関心・期待が高く、企業活動を行う上では必ず取組まなければならないものであり、人権を軽んじると企業として存続することができなくなる事業に関わる全ての方々が、お互いを尊重してこそ、当社グループ自身が持続可能	● すべての事業活動において、人々の尊厳と基本的人権を尊重し、組織や業態を超えた「共創」の取組みを推進します
脱炭素		● 当社グループの事業は、天然資源やエネルギーを多く利用しており、環境問題は事業継続に影響する ● 環境問題は、当社グループの事業だけでなく、ステークホルダーの生活や事業にも影響する大きな課題	● 不動産開発と不動産関連サービスの連携により、街づくりや商品・サービスを通じて、「省エネ」「建物の低炭素化」「再エネ」の３つを主軸に、世界共通のテーマである気候変動課題の解決に貢献していきます
生物多様性		● 自然環境への貢献のほか脱炭素社会の実現にも貢献できる	● 国産木材を活用することで、森林循環の回復に貢献するような取組みを推進していきます
サーキュラーデザイン		● 資源が循環するための仕掛けを予め製品・サービスに組み込むことや、製品そのものの寿命を延ばすことで、できるだけ廃棄物を抑制するような取組みであり、この取組みは、脱炭素社会の実現にも貢献できる	● CO_2削減にも寄与する適切な資源利用などの環境に配慮した街づくり・サービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献 ● 環境法令・規制を遵守し、適切な環境マネジメントを推進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナビリティポリシー、マテリアリティ、計測指標（KPI）策定のプロセス

STEP 1 長期的な社会課題を幅広く検討

STEP 2 当社グループにとっての重要な要素を抽出

STEP 3 ステークホルダーにとっての重要な要素を抽出

STEP 4 サステナビリティポリシーと3つのテーマの設定と重要課題（マテリアリティ）の特定

STEP 5 **重点課題（マテリアリティ）に対しての計測指標（KPI）を設定**

STEP5. 重点課題（マテリアリティ）に対しての計測指標（KPI）を設定

新中長期経営計画および「GRIスタンダード」などの国際的フレームワーク・政策動向を踏まえ、SETP4で特定した重点課題（マテリアリティ）に対しての計測指標（KPI）を、サステナビリティ委員会で審議の上で決定し、取締役会へ報告。

重点課題（マテリアリティ）	計測指標（KPI）
社会と社員 ダイバーシティ＆インクルージョン 人権	インクルーシブデザインの商品・サービスの提供
	調達ガイドライン アンケート実施率80%
	人権デュー・デリジェンスの体制構築
	男女育児休業取得率 100%
	女性マネジメント職層比率 20%
	1on1ミーティングの実施率 100%
	人権関連研修参加率100%
気候変動と自然環境 脱炭素 生物多様性 サーキュラーデザイン	CO_2のScope1,2排出量60%削減、Scope3排出量50%削減（2019年度比）
	新築物件における省エネルギー性能指標 ZEH/ZEB oriented水準を確保
	木質化建物の開発：炭素貯蔵量10,000t-CO_2／年
	生物多様性に関する認証取得
	建物の長寿命化への取組み：自社基準実施率100%
	廃棄物量削減と廃棄物再利用率向上：産業廃棄物量削減率20%

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

Our Action

私たちの
サステナブルアクション
事例のご紹介

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

人間らしさ

テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。
人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

社会と社員

ダイバーシティ＆インクルージョン

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

女性活躍推進

3つ星（NRE）　2つ星（SL）　3つ星（L&S）

女性活躍推進企業の認定として、野村不動産、野村不動産ライフ＆スポーツは「えるぼし（3つ星）」、野村不動産ソリューションズは「えるぼし（2つ星）」を取得しました。女性キャリア研修、フレックスやテレワーク制度導入、休日保育費用の補助、育児中の一時職制転換や休日申告制度等による育児と仕事の両立支援制度を充実させ女性が活躍するための組織風土づくりに取組んでいます。

野村不動産　野村不動産ソリューションズ　野村不動産ライフ＆スポーツ

新基幹職向け女性の健康セミナーの様子

POINT　**女性が活躍するための積極的な組織風土づくり**

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

PRIDE 指標2024においてゴールド・シルバーを受賞

LGBTなどセクシュアル・マイノリティ（以下、LGBTQ＋）への取組みに関する評価指標「PRIDE 指標2024」において、当社グループ6社が「ゴールド」・「シルバー」を受賞しました。

野村不動産グループ

work with Pride Gold 2024

- 野村不動産ホールディングス
- 野村不動産
- 野村不動産投資顧問
- 野村不動産ソリューションズ
- 野村不動産ライフ＆スポーツ

work with Pride Silver 2024

- 野村不動産パートナーズ

POINT

性的マイノリティの方が
働きやすい職場づくりへの積極的にコミット

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

1on1ミーティングの推進と心理的安全性の醸成

1on1による心理的安全のベースを作ることが重要であると考えており、2020年10月よりグループ全体で1on1ミーティングを導入しました。1on1ミーティング実施の進捗度に関しては、毎年グループ全社でアンケートを実施し、確認しています。

野村不動産グループ

業務・組織課題の改善

能力開発／キャリア支援

心身の健康チェック／プライベートな相談

目標設定／評価

戦略・方針の伝達

一人ひとりの社員が働きやすい環境創出に向けて1on1ミーティングを実施

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

多様な人材の働き方

外国人技能実習生の受け入れに際して、上長との定期的な面談の機会（ラインケア）、人材開発課スタッフによる実習生寮巡回時に生活支援・メンタルケアなどのサポート体制の整備に加え、技能実習生向けのイベントも実施し、相互の交流や日本文化に触れる機会なども提供しています。

野村不動産アメニティサービス

POINT

外国人技能実習生への多面的なサポート、
相互文化交流により多様な人材の活躍の場を創出

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

社員自らが「休日」「勤務エリア」「営業目標」を選択可能な人事制度導入

「共働き・共育てを前提とした上で、やりがいをもってキャリア形成ができ、社員から選ばれ続ける会社」を目指していくため、育児等の両立支援として、「休日」「勤務エリア」「個人営業目標」それぞれを社員が自らのライフスタイルに合せて選択する制度・施策を新たに導入しました。

野村不動産ソリューションズ

POINT

ライフスタイルに合わせた多様な働き方を選択できる
人事制度によりキャリアと育児等の両立を支援

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

「健康経営銘柄」に2年連続選定
～「健康経営優良法人 2025」にはグループ13社が認定～

野村不動産ホールディングス株式会社は、経済産業省と東京証券取引所が共同で実施する「健康経営銘柄」に2年連続で選定されました。また、当社グループ13社が経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人 2025」に認定されました。大規模法人部門においては「健康経営優良法人」上位500社は「ホワイト500」とされており、当社グループのうち5社がこの「ホワイト 500」にも認定されました。また、中小規模法人部門においては当社グループ4社が初認定となりました。

野村不動産グループ

2025 健康経営銘柄 KENKO Investment for Health

・野村不動産ホールディングス

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

・野村不動産ホールディングス
・野村不動産
・野村不動産投資顧問
・野村不動産ソリューションズ
・野村不動産ライフ&スポーツ
・野村不動産パートナーズ
・プライムクロス
・野村不動産コマース
・野村不動産ホテルズ

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門

・野村不動産熱供給
・野村不動産ウェルネス
・野村不動産アメニティサービス
・ファーストリビングアシスタンツ

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門 ホワイト500

・野村不動産ホールディングス
・野村不動産ソリューションズ
・野村不動産
・野村不動産投資願問
・野村不動産ライフ&スポーツ

POINT **従業員の心身の健康へ戦略的にコミット**

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

シニア・ウェルビーイング「オウカス」

健康増進型・賃貸シニアレジデンス「オウカス」は、専門知識のあるスタッフが理想的な暮らしを支える「オウカス・ウェルネスプログラム」を独自に考案し、2019年グッドデザイン賞を受賞しました。運動・食事・コミュニティ・医療介護連携まで専門スタッフがきめ細やかなサービスを提供します。

なお、運動についてはライフ＆スポーツ社と共同開発した運動プログラムを提供しています。

野村不動産ウェルネス　野村不動産ライフ＆スポーツ

■運動

運動指導員が一人ひとりの体力や健康状態を把握し、身体機能はもちろん認知機能の維持・向上にも着目。それぞれの改善に向けた活動メニューや、フィットネスクラブ「メガロス」と共同開発した運動プログラムなどを継続的にご提供し、入居者の皆さまの毎日をフォローします。

■食事

管理栄養士のもと、美味しく栄養バランスの取れたお食事を一人ひとりの健康状態に配慮してご提供。厨房で調理したできたての料理を、毎日楽しめます。季節のイベント食なども実施し、入居者同士や家族と一緒に会話を楽しみながらお食事ができる環境を整えています。

全てイメージ

■医療介護連携

医療・介護の専門知識を持つコンシェルジュが、入居者の健やかな日常をサポート。入居時のオリエンテーションでは地域の連携病院の選定や、訪問診療のセッティングを行うほか、さりげないお声がけから日々の健康状態のケア、緊急時の対処など多面的にサポートします。

■コミュニティ

新しい仲間が生まれ、生き生きとした暮らしが送れるよう、サークル活動や創作活動など、様々なイベントをお手伝い。同じ趣味を持つ入居者の方とのつながりづくりなど、心の健康にも取り組むとともに、暮らしの中のお悩みなど生活相談にも対応します。

POINT

専門スタッフがサポートする
ウェルネスプログラムにより高齢者の健康寿命を延伸

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

インクルーシブデザインの推進

野村不動産グループは、インクルーシブデザインを「商品・サービスづくり等のプロセスへ多様な背景・価値観を持つ人々の参画により、新たな気づきを得て、まだ見ぬ価値を創造するための手法」と定義しています。また、外部企業のサポートのもと「インクルーシブデザイン勉強会、体験会」などを実施しています。

野村不動産グループ　野村不動産　野村不動産アメニティサービス

LGBTQ＋の方々を招いたワークショップ（2024年10月実施）

外国人技能実習生（野村不動産アメニティサービス所属）の方々を招いたワークショップ（2025年3月実施）

POINT

LGBTQ＋の方々、外国人技能実習生の方々を招き、インクルーシブデザインワークショップの開催

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

パラアスリート支援

野村不動産グループは日本パラスポーツ協会のオフィシャルパートナーです。野村不動産パートナーズと野村不動産ライフ＆スポーツは、東京都スポーツ推進企業に認定されました。野村不動産ライフ＆スポーツには4名のパラアスリート選手が所属しています。野村不動産パートナーズには西勇輝選手（車いす陸上、短距離）、長野凌生選手（パラ水泳、自由形）が所属しています。

野村不動産パートナーズ　野村不動産ライフ&スポーツ

CPサッカー　本中野選手

パラ水泳　長野凌生選手

POINT　**社員のパラアスリート・スポーツ活動をグループとして支援**

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

社会と社員

人 権

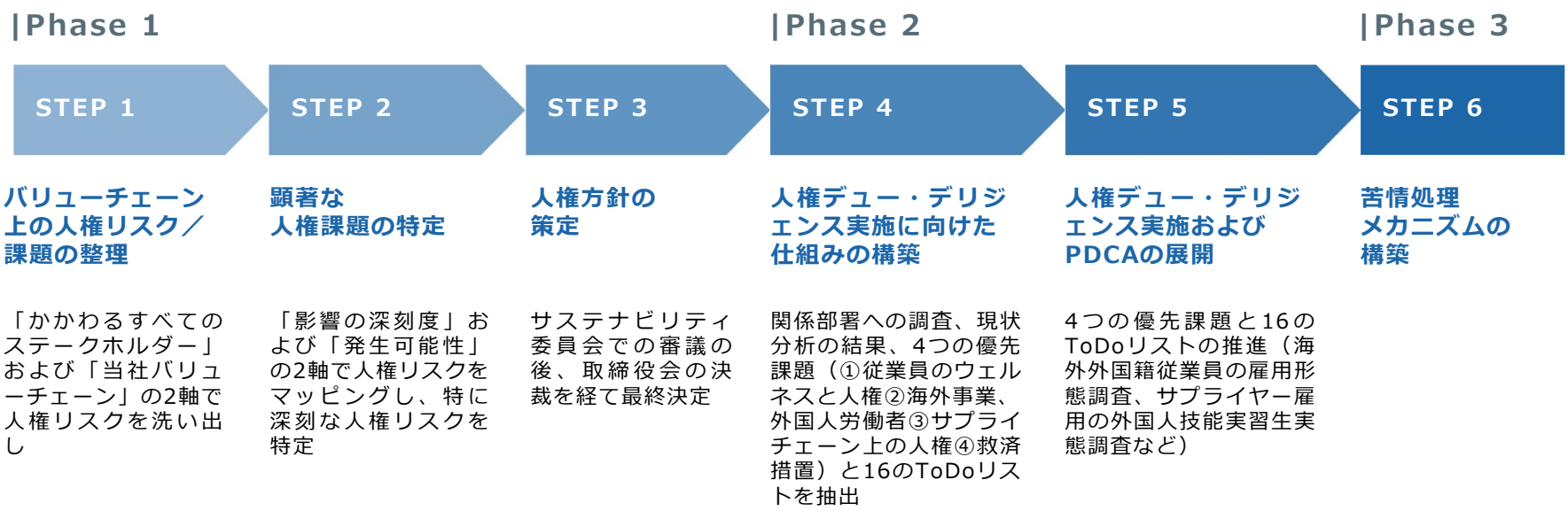
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

人権デュー・デリジェンスの実施

当社グループの事業活動および取引関係により当社の事業、商品、サービスに直接関係する人権への負の影響を特定し、それらを防止および軽減させることを目的に、当社グループは国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく、人権デュー・デリジェンスのプロセスの構築に取組んでいます。

野村不動産グループ

人権デュー・デリジェンスロードマップ



POINT　人権に関する影響の防止と軽減策の実施

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

安全衛生協議会の実施

安全管理体制の徹底と安全衛生に関する意識向上を目指し、サプライヤー/取引先企業とともに定期的に安全衛生協議会を実施しています。年に1度「東日本安全衛生協議会」「西日本安全衛生協議会」を開催し、2023年度は、それぞれ71社（78名）、79社（79名）が出席し、合同安全パトロールの結果報告や、安全・品質に関する取組み説明などを実施しました。

野村不動産パートナーズ

POINT

取引先を含めた安全衛生の強化を通して
従業員のウェルネス向上及び人権への配慮を実現

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

人権課題に関する意見交換の実施

当社グループは、建設・不動産会社が主体的に実施している「人権デュー・ディリジェンス推進協議会（旧：人権デュー・ディリジェンス勉強会）」にて、外国人技能実習生の受け入れや、事業活動に関わる人権課題に関して、人権への負の影響を防止するために、NGOや弁護士など社外とのエンゲージメントを実施しています。エンゲージメントの結果を今後の活動や計画に反映することで、国際規範に基づいた適切な事業活動を推進しています。

野村不動産グループ

〈人権デュー・ディリジェンス推進協議会会員企業〉

・東急不動産ホールディングス株式会社
・東京建物株式会社
・野村不動産ホールディングス株式会社
・三井不動産株式会社
・三菱地所株式会社
・森ビル株式会社
・株式会社大林組
・清水建設株式会社
・大成建設株式会社

〈主な活動内容〉

・人権デュー・ディリジェンスに関する取組み内容の共有
・先進事例の調査・研究
・人権課題に関する意見交換
・人権リスクの評価と対応
・情報公開

POINT

業界全体で、強制労働をはじめとする人権侵害の予防に努める

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

苦情処理メカニズムの整備

すべての従業員が利用できる人権問題の複数の相談窓口に加え、お取引先様から当社グループの従業員による人権侵害など倫理規程に抵触する恐れのある行為について通報いただく窓口を設置しています。

野村不動産グループ

POINT

人権に関する相談窓口を設置することにより
問題の早期発見と再発防止策に取組む

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

「アライチーム」の組成

LGBTQ＋当事者の方が住まいに関して直面する課題や社会に存在する障壁を解消し、誰しもが「マイホームをもつこと」をかなえられる機会を提供することを目指して、「アライ※チーム」を組成し顧客サービスの向上や風土醸成に生かす活動を行っています。

野村不動産

2025年6月に実施されたTokyo Prideの様子

※LGBTQ+などの性的マイノリティを理解し、支援する人のこと

POINT

LGBTQ＋当事者の方が住まいに関して直面する課題や社会に存在する障壁を解消されることを目指し、独自のアライチームを組成

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

自然との共生

未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見つめ直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係をより良いものへと変えていく。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

気候変動と自然環境

脱炭素

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

温室効果ガス排出量のネットゼロを目指す国際イニシアティブへの賛同

2050年までに運用資産における温室効果ガス排出量のネットゼロを目指す資産運用会社による国際的なイニシアティブへ賛同・署名しました。

野村不動産ホールディングス

RE100

CLIMATE GROUP | CDP

POINT

2050年までに運用資産における温室効果ガス排出量のネットゼロを目指す

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

木質サステナブルオフィス「野村不動産溜池山王ビル」

木使用量・使用率を最大化しCO_2削減を実現した環境配慮型オフィスビル「野村不動産溜池山王ビル」では、環境配慮とウェルネスな木質空間の創出の両立だけでなく、高効率な設備の導入等により標準ビル比50%以上の一次エネルギー消費量を削減し、ZEB Ready認証を取得しました。

備考：令和3年度 国土交通省のサステナブル建築物等先導事業（木造先導型）に採択／「ウッドデザイン賞2024」受賞（建築・空間分野/ソーシャルデザイン部門）／2024年度木材利用推進コンクール「内閣総理大臣賞」受賞（優良施設部門）／2024年度港区みなとモデル二酸化炭素固定認証制度「最優秀賞」受賞

野村不動産

野村不動産溜池山王ビル

POINT

木使用量・使用率を最大化し、高効率な設備により
CO_2を削減した環境配慮型オフィスビル

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

オウカス世田谷仙川におけるウッドデザイン賞の受賞

オウカス世田谷仙川は「SETAGAYA Qs-GARDEN」の敷地内に位置しており、まちの中心となる芝生広場に向け、地域に開いた交流拠点となる木造フィットネス・カフェ棟を設け、その外壁などには多摩産材を用い、積極的に木質化することで、東京都「木の街並み創出事業」認定を受ける等、エリア内の広大な杜と親和性のある建物としています。

野村不動産　野村不動産ウェルネス

オウカス世田谷仙川　木造フィットネス・カフェ棟

POINT　**地域に開いた施設、木の活用を通して、環境と融和する建築**

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

EV充電サービス「プライブ」を用いたEV車普及への取組み

分譲集合住宅においてEVを充電できる区画が少ない現状を踏まえ、充電設備を低圧で引き込むことで、高まるEV需要に応えるサービスを開始しました。初期費用を抑えられる低圧引込に加え、充電器は利用者との個別契約で管理費負担ゼロを実現しました。さらに、将来の需要増を見越して増設も容易に対応できます。

野村不動産

EV充電設備イメージ

POINT

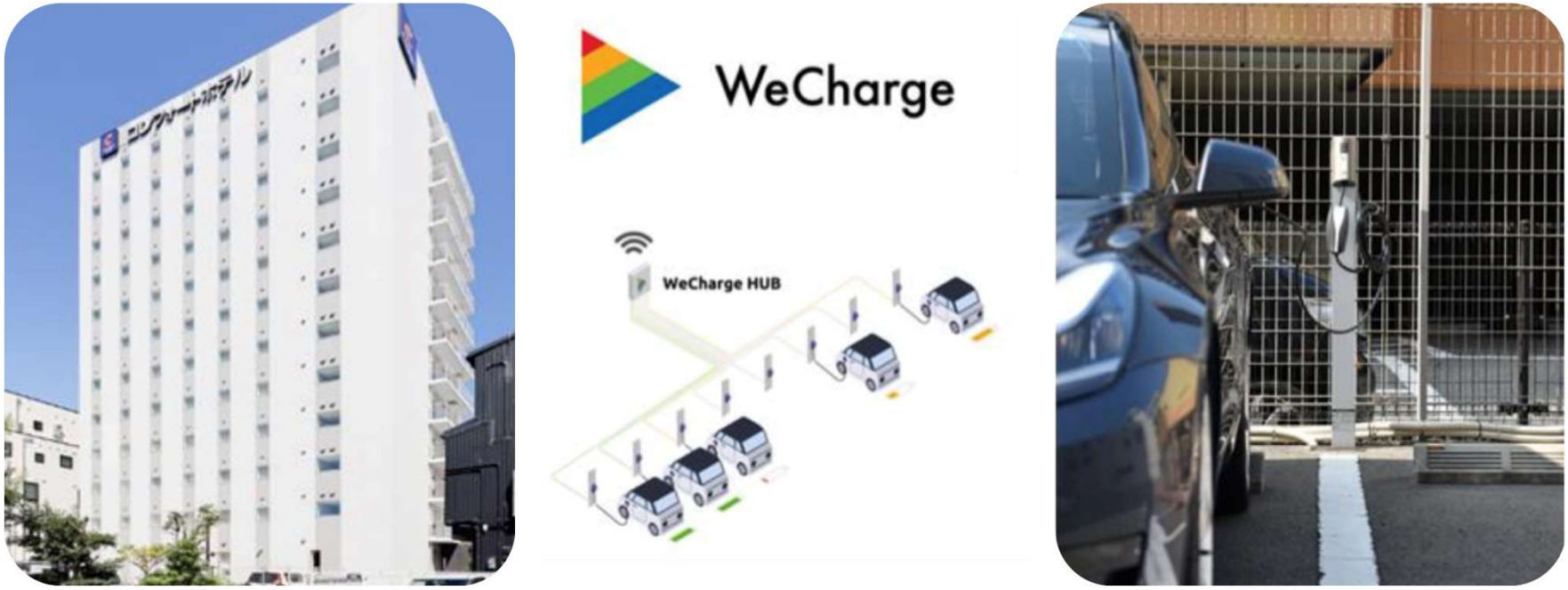
EV充電器の拡充によるEV普及支援を通して、
低炭素化社会に貢献

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

EV充電サービスの提供によりCO₂排出量を削減

野村不動産プライベート投資法人が保有する「コンフォートホテル佐賀」「コンフォートホテル和歌山」において、宿泊利用者向けにEV充電サービスを提供することによりCO₂排出の削減を目指しています。

野村不動産投資顧問



コンフォートホテル和歌山における「EV充電サービス」の導入

POINT お客様と共に、CO₂排出量削減を促進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

プラウドシティ日吉の取組み

プラウドシティ日吉では、各家庭の高効率機器をまち全体で連携し最適制御するスマートコミュニティ化を進めています。その他、災害時の電気・熱・水の確保に取組むなど環境・防災に配慮し、地域の発展への貢献を進め、100年先も住み続けたいと思える安心・快適な街づくりを行っています。

野村不動産

プラウドシティ日吉（レジデンスⅠ 2020年竣工・レジンデンスⅡ 2021年竣工・レジデンスⅢ 2022年竣工）

POINT **エネルギー効率、環境・防災に配慮した街づくり**

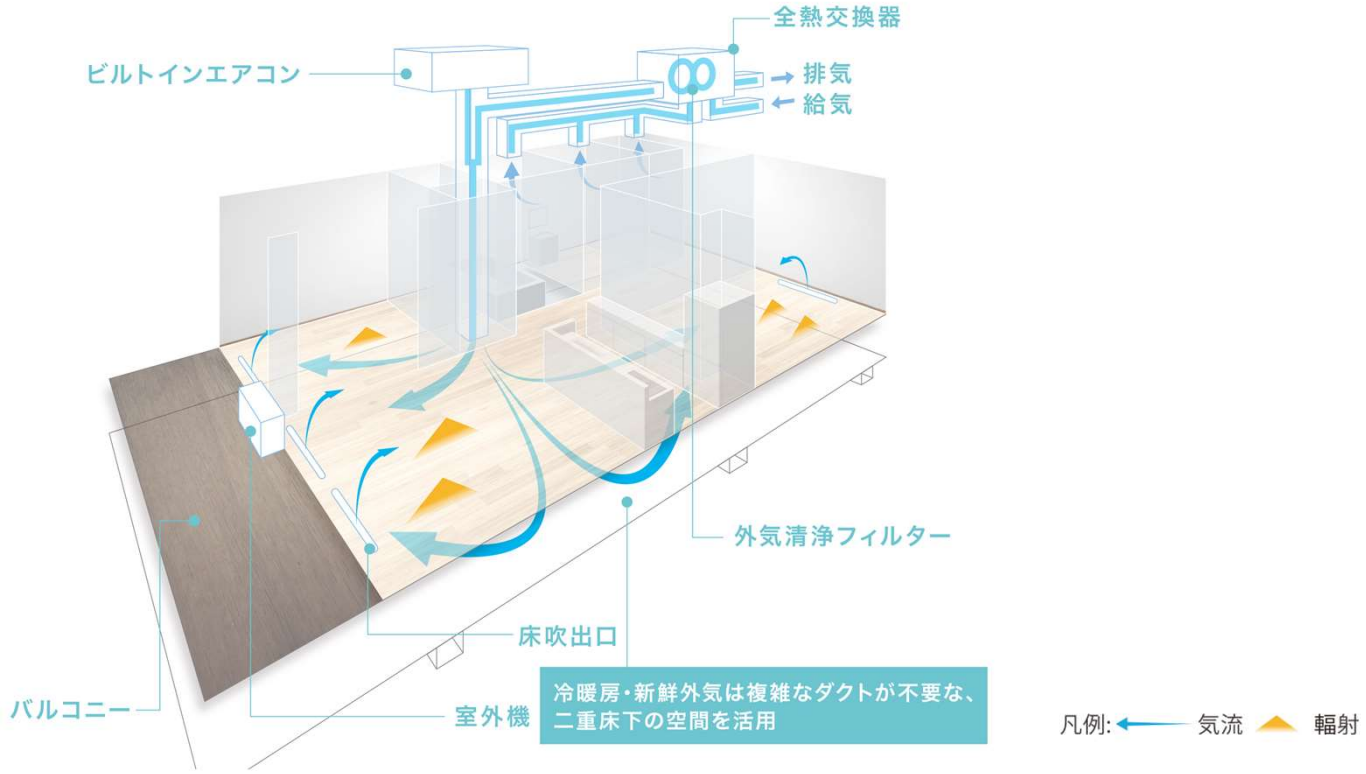
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ZEHへの取組み

ZEH-Mの省エネ機能を実現するため、一部のプラウド物件では「床快full（ゆかいふる）」を採用しています。二重床を冷暖房と換気の経路に利用し住戸全体にエアコンの風と新鮮な外気を送り、設定温度・運転を工夫することで、一般的な個別冷暖房よりも省エネを実現しています。

備考：2020年度グッドデザイン賞ベスト100

野村不動産



POINT

住戸全体の床空調システム「床快full（ゆかいふる）」の採用によりCO_2排出量を削減

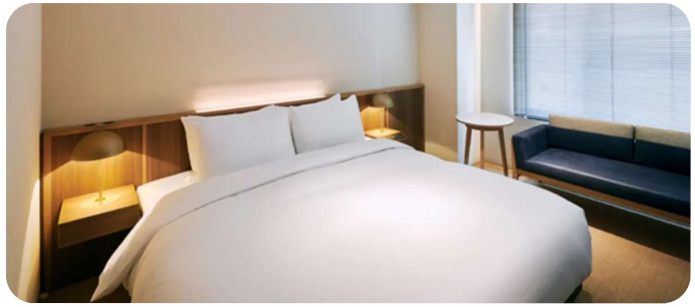
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

エネルギー消費抑制

ホテルでの消費エネルギー抑制に向けて様々な施策に取組んでいます。

- グリーン電力を導入
- BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）
- LED電球の使用
- リネン交換抑制（客室内に Eco Friendlyカードを導入）

野村不動産ホテルズ



ホテル内の電力は「CO_2ゼロプラン」※を活用

BELS評価書取得。BEIの値（削減率）4.0%削減

パブリックスペース・客室とも電球は全てLED電球を設置

客室内に「Eco Friendly カード」を導入

※「CO_2ゼロプラン」は、再生可能エネルギー由来の非化石証書等を活用し、実質的に再生可能エネルギー100%・CO_2排出量ゼロを実現するもので、
関連会社であるNFパワーサービス株式会社が提供することで安定的にCO_2排出量ゼロ化を実現することができます。

POINT

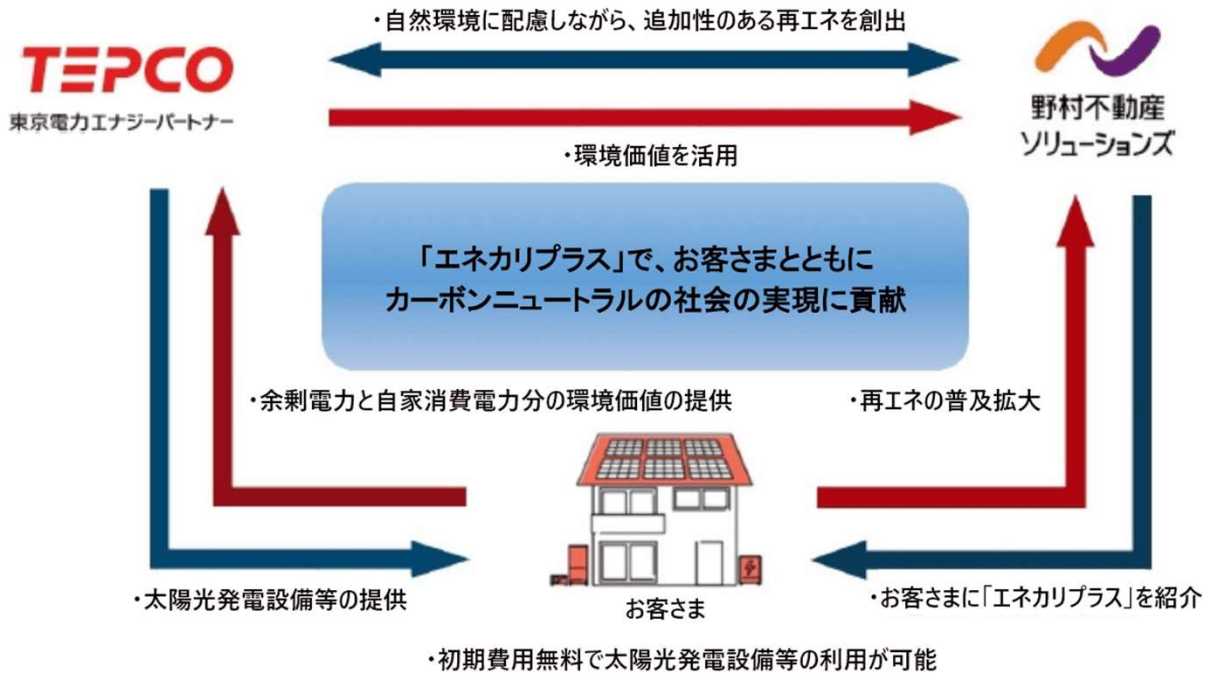
省エネ施策、再生エネルギー活用により脱炭素を促進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

エネカリプラスの活用による再エネ利用

東京電力エナジーパートナーと業務提携し、同社が提供する太陽光PPAサービス※エネカリプラスを、中古・新築を問わず戸建住宅をご購入いただいたお客様にご紹介する取組みを開始しました。お客様は、自己負担なく初期期費用無料で太陽光発電設備等を設置でき、カーボンニュートラル社会の実現に貢献できます。

野村不動産ソリューションズ



※「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」の略称で、お客様がPPA事業者に敷地や屋根などのスペースを提供し、PPA事業者が太陽光システムなどの発電設備の設置と運用・保守を行うもの。

POINT

再生可能エネルギー導入支援により脱炭素を促進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

太陽光発電事業の実施

物流施設「ランドポート」に太陽光パネルを設置して「再エネ」に取組んでいます。2024年3月末現在、累計19棟に太陽光パネルを設置しており、ポートフォリオ全体における発電量は23,837MWh/年でした。

野村不動産

ランドポート柏沼南

POINT

物流施設への太陽光パネル設置により
再生可能エネルギーの調達に貢献

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

分譲戸建における太陽光発電・蓄電池・高効率給湯器の採用

「プラウドシーズン」では、太陽光発電・蓄電池・高効率給湯器を採用することで、防災力と環境性能を向上しています。太陽光発電と蓄電池の組み合わせにより、電力のピークシフトによる効率化だけでなく、災害等の非常時にも電気利用が可能なので、CO_2削減に貢献しながら、BCP対策としての貢献も果たしています。

野村不動産

全住戸に太陽光発電パネルを搭載した「プラウドシーズン国立ガーデンシティ」完成予想図

蓄電池イメージ 4.2kWh

POINT

分譲戸建における再生可能エネルギー活用により
防災力と環境性能を同時に強化

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

太陽光発電一体型カーポートを設置

野村不動産プライベート投資法人が保有する物流施設「Landport 厚木金田」に太陽光発電一体型カーポートを設置しました。追加性のある再生可能エネルギーとして同施設内で自家消費することができます。また、駐車場が屋根付きとなることで、夏季の日射や雨天時の雨除けとなり、車利用者の快適性や利便性が向上します。

野村不動産投資顧問

ソーラーカーポートを設置したLandport厚木金田

POINT

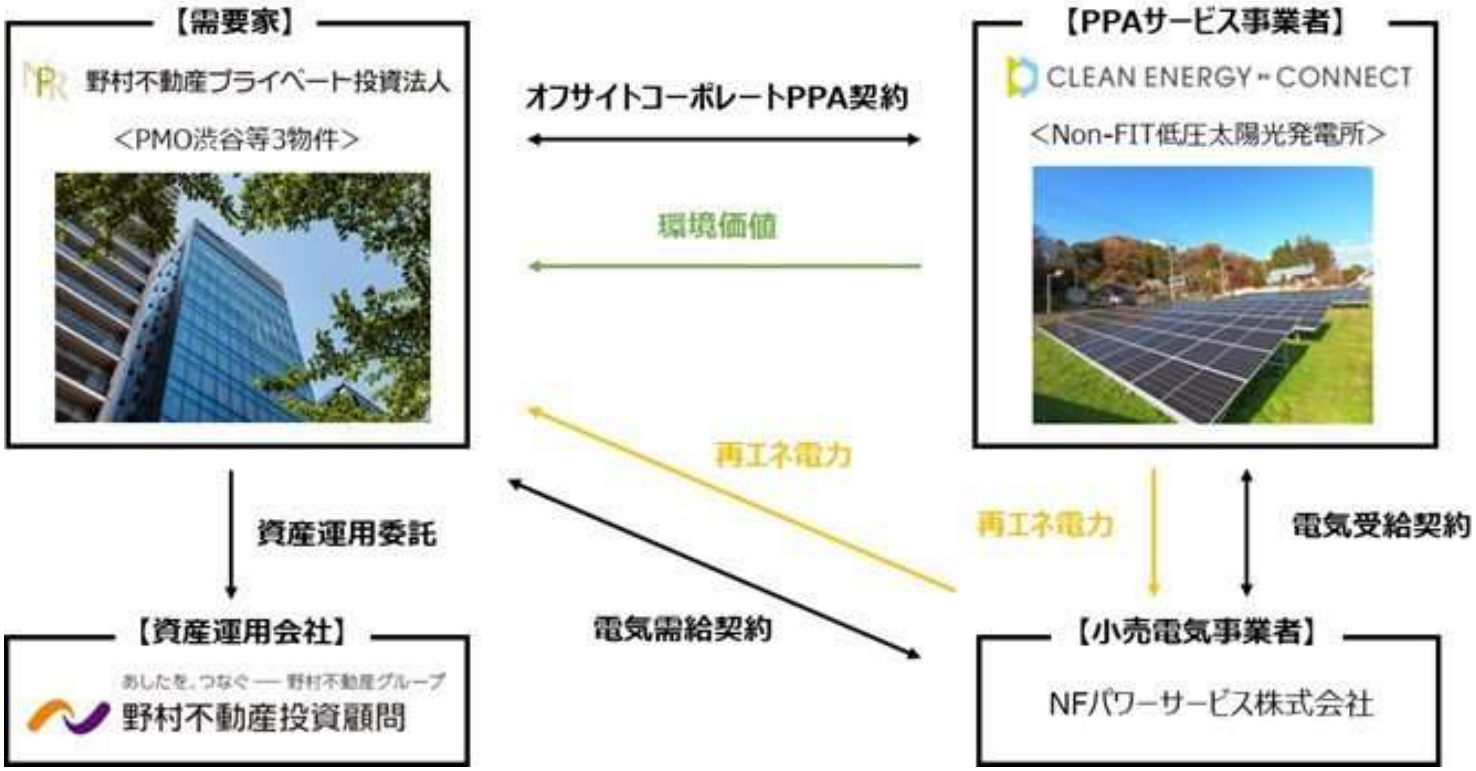
物流施設への太陽光パネル設置により
再生可能エネルギーの活性化に貢献

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

オフサイトコーポレートPPAサービスの運用

野村不動産プライベート投資法人が保有するオフィスビルの敷地外に発電設備を設置するオフサイトコーポレートPPAサービスをクリーンエナジーコネクトと協業して実施し、追加性のある再生可能エネルギーの調達を実現しました。

野村不動産投資顧問



POINT

都心部のオフィスビルにおいて追加性のある再エネ電力を調達

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

再生可能エネルギーの導入

風力・国産木材バイオマスといったベース電源に加え、昼間の太陽光と、日中に太陽光によって発電された電力を蓄電池に貯め、電力需要の高まる夕方以降の時間帯に「夜間太陽光」として供給する電力を組み合わせることで、都心部のオフィスビルや商業施設の需要特性にも対応した最適な電力供給を行うサービスを導入しました。

野村不動産

野村不動産芝大門ビル

日本橋室町野村ビル

大型定置用蓄電池「Mega Power」

POINT

都内オフィスビル2棟にパワーエックスの「X-PPA」による100%追加性のある再エネを導入

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

BLUE FRONT SHIBAURA（芝浦プロジェクト）

本社移転先の芝浦エリアにて、健康で快適なまちの創造をテーマに、次世代のテナントビルのあるべき姿とCO_2削減の両立に向けて、ウェルネスオフィスの実現、各種省エネ対策によるZEB Orientedの達成を図るとともに、再生可能エネルギー由来電力などの導入によって、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

備考：国土交通省・令和3年度サステナブル建築物等先導事業（省CO_2先導型）に採択／crQlr Awards2024「Shoreline Shaper Prize」受賞

野村不動産

POINT

他企業と共同し、大規模複合開発における街区全体での
CO_2排出量実質ゼロ実現を予定

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

気候変動と自然環境

生物多様性

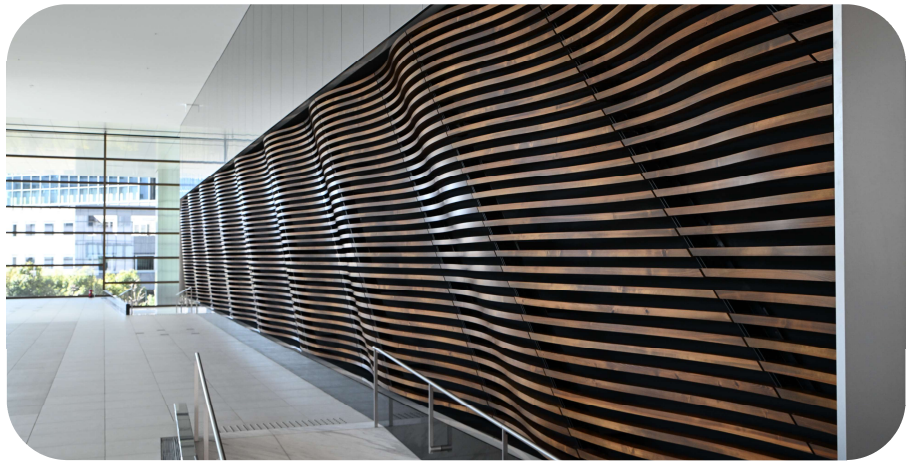
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

森を、つなぐ東京プロジェクト

東京都奥多摩町にある約130haの森林を保有し、生物多様性を重視した管理方式の採用など適切な森林計画を実施することで、森林のCO_2吸収量増加、切り出された木材の利活用によりCO_2固定化に寄与しています。
また、自然環境と人間活動を総合的に取り扱い、課題解決を導き出す、「ランドスケープアプローチ」と呼ばれる手法で、自然と都市が持続的に共生するモデルケースを確立し新しい経済循環を創出しています。
備考：2024年第１回Tokyo-NbS アクションアワード」最優秀賞受賞／2024年度「グッドデザイン賞」受賞／「ウッドデザイン賞2024」受賞（コミュニケーション分野/ソーシャルデザイン部門）／2024年林野庁「森林×ACTチャレンジ」優秀賞（林野庁長官賞）受賞（森林づくり部門）

野村不動産グループ

野村不動産グループが保有する「つなぐ森（東京都西多摩郡奥多摩町）」



BLUE FRONT SHIBAURAの共用部・内装部材につなぐ森の木材を利用

POINT

自社保有林の生物多様性に適した管理、
木材の有効活用を通してCO_2吸収、固定化を促進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

森林保全や地域貢献を意識した店舗づくり

自由が丘センター：サステナビリティを意識した内装を採用しています。

① 森林保全を目的とした「木製家具」

② 全国天然木化粧合単板工業協同組合連合会による合法伐採認定企業の「天然木壁材」

③ 環境素材の「珪藻土クロス」

④ CO_2削減に貢献する「リサイクルタイルカーペット」

野村不動産ソリューションズ

POINT

森林保全を目的とした素材、環境素材、
リサイクル素材を活用した自然と共生する店舗づくり

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

横浜ビジネスパークにおける「ホタルがすむ街づくり展」

オフィス・商業施設「横浜ビジネスパーク」は、横浜国立大学と共同で生物多様性保全に取組んでいます。地域住民を対象に「ホタル観賞会」、近隣の小学校向けに「稲づくり体験」などを実施しています。生物多様性保全への配慮から、ABINC（一般社団法人いきもの共生事業推進協議会）の「いきもの共生事業所認証［都市・SC版］」を取得しました。

野村不動産

POINT

保有施設で生物多様性や環境問題について
地域のみなさまと共に考え、学ぶ場を提供

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

「庭のホテル」屋上での養蜂

eco庭プロジェクト※の一環として、屋上菜園の果菜類の受粉促進、収穫量増加に向け、屋上の一角で養蜂を開始しました。採取した蜂蜜は、レストランでのご提供（朝食・オリジナルドリンク）のほか、フロントにて販売しています。

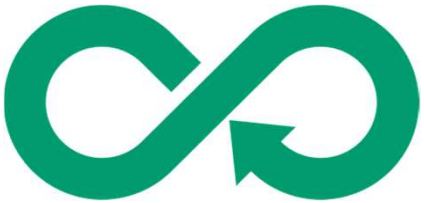
野村不動産ホテルズ

※55ページ参照

POINT

養蜂を通した農業活動の強化により自然環境保全、生物多様性を実現

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.



気候変動と自然環境

サーキュラーデザイン

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

eco庭プロジェクト

2022年秋より環境保全プロジェクトを始動しました。捨てられたスーツケースをプランターへつくりかえ、落ち葉を腐葉土にし、卵の殻は結城石灰に加工するなど廃棄物の再資源化に取り組んでいます。それらを活用して、ホテルの屋上で無農薬の野菜やハーブを栽培し、お客様へ提供しています。

野村不動産ホテルズ

POINT　**廃棄スーツケースのプランター、落ち葉、卵の殻を活用した屋上菜園**

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ホテル事業における木質製品の利用促進

環境保護の取組みの一環として、プラスチック提供量の削減を進めるため、客室に設置するアメニティをバイオマス製品や木質製品への切り替え、客室内常備品の見直しを進めています。生物由来資源であるもみ殻を原料とした歯ブラシやヘアブラシ、天然の竹製歯ブラシやスリッパなどを提供しています。

野村不動産ホテルズ

庭のホテルにて採用のバイオマス素材アメニティ

POINT

アメニティのバイオマス製品や
木質製品への切り替えにより、プラごみを削減

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ペーパーレス化の推進

各部署・店舗の使用枚数をイントラへ掲載することで数値を見える化し、ペーパーレス化の推進をしています。

野村不動産ソリューションズ

POINT　**紙の使用量の削減**

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

これからのマンション再生のあり方について

リ・プレミアム

アトラクティブ30

プラウド上原

「re:Premium（リ・プレミアム）」では、通常12年ごとに計画される大規模修繕工事を高耐久資材や技術開発により16～18年に延伸しています。「アトラクティブ30」では、既存マンションにリノベーションと増築により新たな価値を付与しヴィンテージマンションとして提供しています。

野村不動産　野村不動産パートナーズ

「ハイブリッド型リノベーション」を実現した「プラウド上原フォレスト」

POINT

大規模修繕工事の周期延伸、リノベーションにより
マンションの長寿命化を実現

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ECOMMIT

あらゆるものが循環するためのインフラと仕組みを提供する環境ベンチャー企業・株式会社ECOMMITと共創し、グループの管理する都内マンションへ不用品回収ボックスを設置し、廃棄せずに資源として再流通させる仕組み「PASSTO」を導入しました。ボックスの設置から不用品の回収までの運用を行っています。

野村不動産コマース　野村不動産

当社グループ内施設に設置する回収ボックス

庭のホテルに設置された意思表示カード

POINT

管理するマンションで不用品を回収、再資源化、流通させる仕組みを導入

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

廃棄物に付加価値をつけて再利用

ブランドを通したコンセプトである「地域との深いつながりから生まれる素敵な経験」をお客様に提供するホテルとして、地元企業と協力しながら、革や和服の切れ端を再利用してネームプレートやチーフなどを作って使用する等、廃棄物の削減及び再利用を積極的に行っています。

野村不動産ホテルズ

NOHGA HOTEL UENO TOKYO

革の端切れを利用したネームプレート

POINT 地元産業の廃棄物をアップサイクルしたアイテムをホテルで使用

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ペットボトル一元回収の実証実験

サントリー食品インターナショナル株式会社、白井グループ株式会社および株式会社首都圏環境美化センターと協働で野村不動産グループが管理する19物件（オフィス4物件・マンション15物件）を対象にペットボトル一元回収の実証実験と分別排出状況の検証を実施しました。

野村不動産　野村不動産パートナーズ

実証実験の様子

POINT

サーキュラーエコノミー実現に向け
廃棄物の再資源化を企業と共創

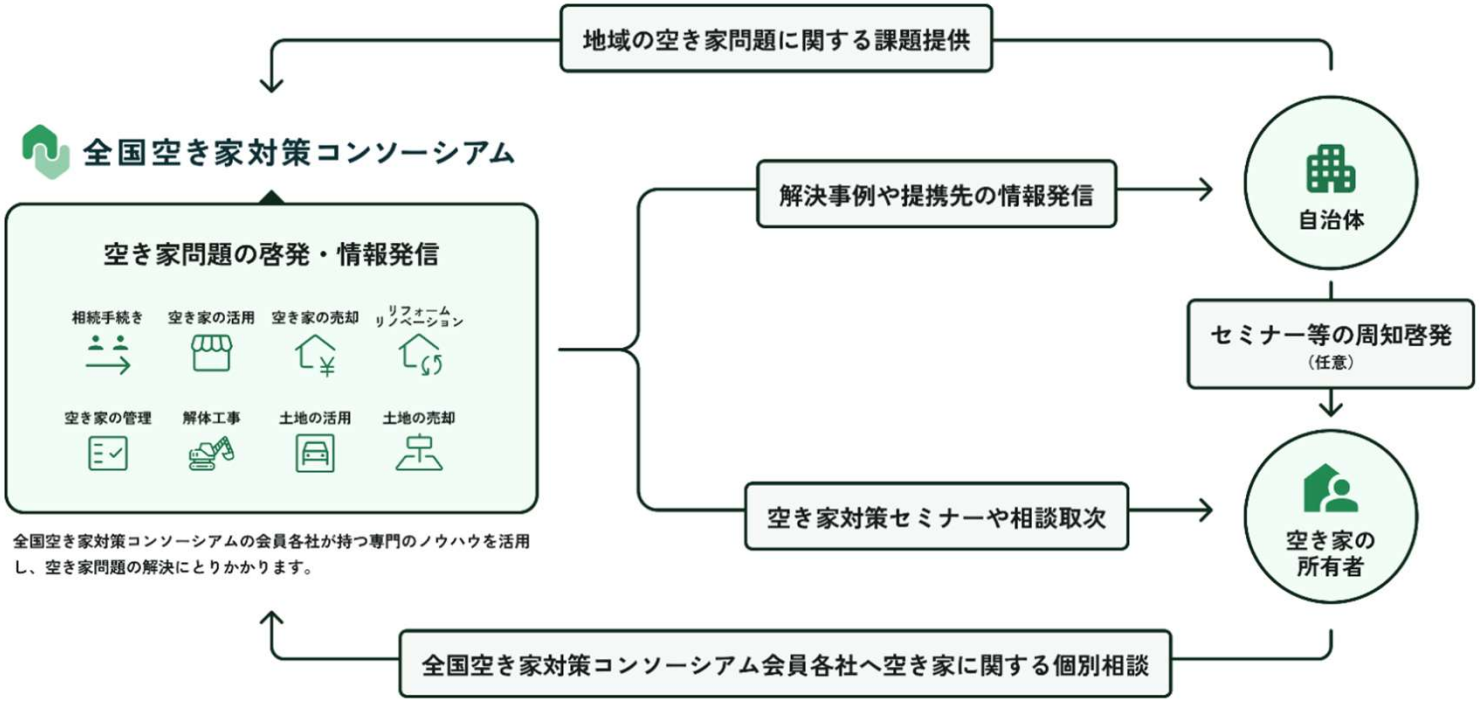
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

「全国空き家対策コンソーシアム」に参画

「全国空き家対策コンソーシアム」に会員として参画しています。

- 相続物件の処分をご検討のお客様に「空き家の譲渡所得の3000万円特別控除」制度の情報提供、ご売却のサポートを行っています。
- 法人所有の遊休不動産に対し、売却や活用等多方面からのCRE提案を行っています。

野村不動産ソリューションズ



POINT

全国空き家対策への積極的な関与を通して
循環型の街づくりへ貢献

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

共に創る未来

多種多様な組織・人が共に手をとりあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

こどもみらいプロジェクトの開始

非認知スキルを育てるため、スポーツクラブ「メガロス」がまちとつながり、子どもたちの非認知スキルを育てる場を積極的につくると同時に、より良い街づくりにも貢献する「こどもみらいプロジェクト」を展開しています。

野村不動産ライフ&スポーツ

POINT

運動プログラムの提供を通して地域の子どもの心の知能指数（非認知スキル）向上をお手伝い

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ホテル事業を通じた地域貢献

「地域との深いつながりから生まれる素敵な経験」をコンセプトに「NOHGA HOTEL」では、地域貢献に向けた取組みとしてホテル周辺企業プロデュースの江戸切子や日本酒グラス、銀器職人のグラスをホテル内で使い、日本酒のペアリングディナー、銀器の製作体験などイベントやワークショップを開催しています。

野村不動産ホテルズ

地元企業などとコラボレーションして作成されたオリジナル靴ベラ

地元企業によって作成された江戸切子のグラス

POINT

地域で製作されたアイテムの使用等を通した
地域経済・コミュニティへの貢献

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

教育プログラムでのコミュニケーション

まちと子供たちの新たな関係をつくる教育プログラムを開発しました。

- 「まちをみるめ」は、小学校での出張授業を通じて、まちへの興味や関心を育み、まちの中の大切なものをいっしょに考えていきます。
- 「まちおに」では、慶応義塾大学大学院と共同研究で開発した、参加者みんなで楽しめる地域の鬼ごっこを実施しています。
- 「街の推し」には、埼玉大学と共同研究した、地域の魅力を再発見するプログラムです。本取組みには野村不動産ソリューションズ武蔵浦和センターも参加しました。

備考： 2024年度「グッドデザイン賞」受賞

野村不動産　野村不動産ソリューションズ

POINT

子供とまちの関係を作るプログラムにより
地域を活性化

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

オウカス世田谷仙川における建築アワードの受賞

野村不動産ウェルネスが運用する「オウカス世田谷仙川」が、アジアの不動産業界における権威あるアワードの一つ、MIPIM Asia Awards 2024において、BEST RESIDENTIAL PROJECTカテゴリーにて「GOLD」を受賞しました。

野村不動産　野村不動産ウェルネス

オウカス世田谷仙川

POINT

「オウカス世田谷仙川」が世界的建築アワード
MIPIM Asia Awards 2024にて「GOLD」を受賞

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

BE UNITED構想と具体的な仕組みとして「ACTO」の導入

マンション事業などを通じて培われてきた“地域や住民の声を聞く力”を発揮しながら地域密着・住民が主体の街づくりを行っています。BE UNITED構想は「ふなばし森のシティ」が転機となり生み出され、その後第1号案件の「プラウドシティ日吉」、第2号案件の「亀戸プロジェクト」そして「BLUE FRONT SHIBAURA」へとつながります。
備考：2023年度「グッドデザイン賞」受賞

野村不動産

世田谷体験農園

GEMS 広尾クロス（EAT PLAY WORKS）

POINT

まちにコミュニティを作り、
地域に愛着と活動が生まれる仕組みを創出

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナブルサイトのオウンドメディア運営

サステナビリティプロジェクト「みんなで、つなぐ！」サイトの開発、運営を行っています。アクセシビリティの国際標準ガイドライン「WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）」に沿い、あらゆる人々が「みんなで、つなぐ！」サイトで提供されている情報やサービスを利用できるように整備しています。

プライムクロス　野村不動産ホールディングス

POINT

サステナビリティに特化したオウンドメディアを通して、
社内外へのサステナビリティの認知を促進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

パーパス（私たちの存在意義）の策定

野村不動産投資顧問が持続的に企業活動を継続し、更なる成長を遂げるために、社会に対して提供できる価値や社会に存在する意義を自ら社内で問い直し、パーパスという形で2024年4月に公表しました。

野村不動産投資顧問

Purpose
私たちの存在意義

人びとの豊かな人生の舞台を、創りつづける

わたしたちが運用する不動産は、そこで暮らし、働き、集う人びとにとって、
自分らしく輝ける舞台のようでありたい。
そして、その舞台で躍動する人びとが、 豊かな社会を築き、よりよい“あした”を創り出していくと信じています。

こうした不動産がもつ可能性に投資し、運用を通じて現実の価値に変えること、
それはデベロッパーを源流とし、不動産に向き合い続けてきた、わたしたちだからこそ、できることです。

「人びとの豊かな人生の舞台を、創りつづける」

この信念のもと、わたしたちはフェアなマインドをもって、あらゆるステークホルダーと協働し、
ともに資産運用の舞台で躍動し続けます。

「人びとの豊かな人生の舞台を、創りつづける」というパーパスのもと、社会から必要とされる資産運用会社を目指し続ける

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ISOの取得による品質向上

顧客満足のさらなる向上を目指して、品質に関連する国際規格ISO9001に基づく品質マネジメントシステムを構築し、野村不動産および品質管理が重要度の特に高い野村不動産パートナーズにおいて認証取得を推進しています。

野村不動産　野村不動産パートナーズ

建設現場における品質管理検査

POINT

設計～管理における安全品質確保のため、
外部機関の内部監査員講習を受講した社員が定期的に内部監査を実施

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

「GEMS×熊本フェア」の開催

「食べて地方創生」の取組みとして実施した熊本フェアは、長崎県、京都府、山形県、長野県、高知県、愛媛県との実施に次ぐ7回目の開催です。GEMSでは各地域の行政や企業と連携し、地方創生への貢献ならびに飲食業の活性化に務めていきます。

野村不動産コマース

左から 矢野 忠孝（野村不動産コマース社長）、木村 敬様（熊本県知事）

POINT

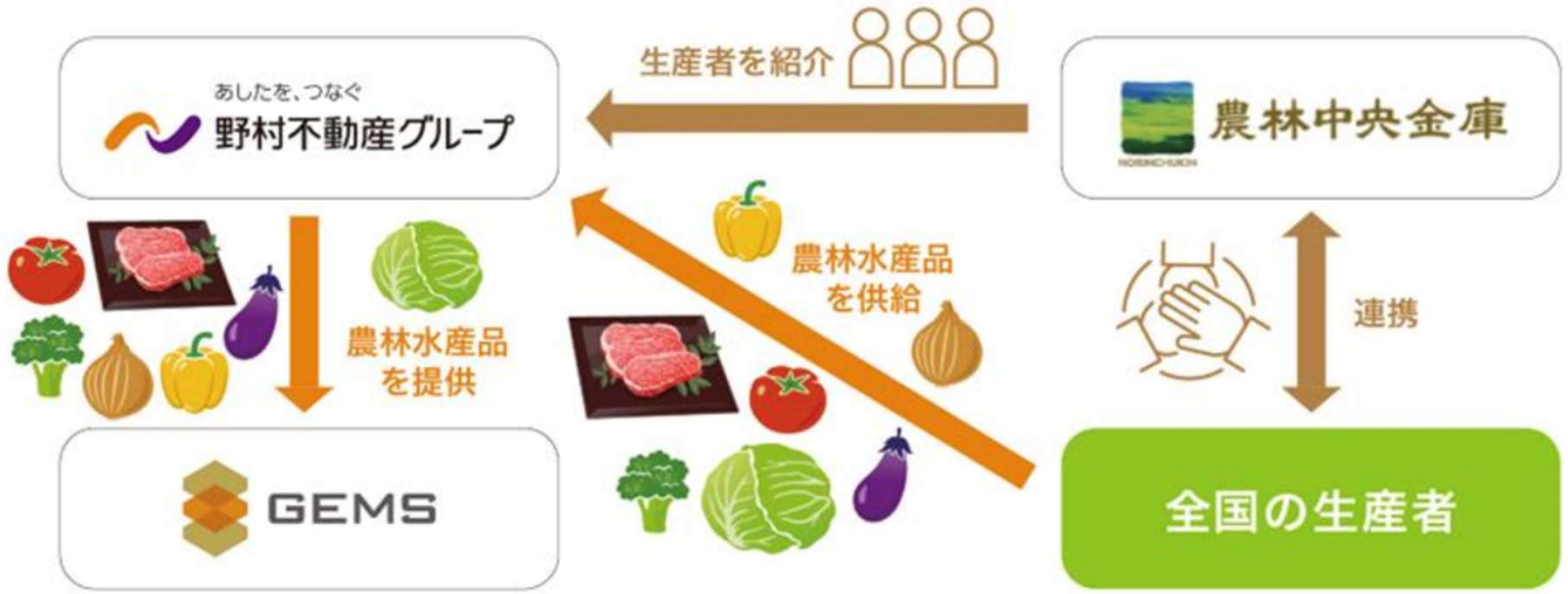
地域創生や店舗支援を目的として
熊本県とのコラボレーションイベントを開催

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

「ニッポンの農畜産物支援プロジェクト」の実施

野村不動産コマースが施設運営を行う都市型商業施設「GEMS（ジェムズ）」15棟、計81店舗において、「野村不動産コマース：ニッポンの農畜産物支援プロジェクト」を実施しました。SDGsに積極的に取組む生産者支援や食品ロス等、日本の農業が抱える課題を少しでも解決していけるよう連携していきます。

野村不動産コマース



POINT

自社施設のテナントと協力して、循環型農業、環境保全等に取組む先進的農業の生産者を支援

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

サステナビリティ、ウェルネス・D&I意識調査を実施

野村不動産グループ社員が普段捉えている会社や職場の良い点や課題点を経営と共有し、よりよい職場づくりに活かすことを目的とし、2022年8月からグループ合同で意識調査（◎あなたの声があしたをつなぐ！）を実施しています。

野村不動産グループ

POINT

グループ全体での従業員満足度・自発的貢献意欲指標の見える化
共通課題に対する施策の検討につなげる

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

大阪府枚方市　横浜市青葉区　東京都　東京都北区　横浜市

地域の防災拠点・健康増進拠点としての連携

大阪府枚方市、大阪市中央区、名古屋市千種区、東京都立川市、小金井市、町田市などの自治体と子育て・障がい者・高齢者支援、地域の安全・安心、文化・スポーツ振興、地域の活性化・市民サービスの向上に資する取組みの連携協定を締結しました。横浜市とこども・子育て世代をはじめとした市民のスポーツ振興及び高齢者の健康増進に関する協定を締結しました。

野村不動産ライフ＆スポーツ

左から枚方市長 伏見隆、野村不動産ライフ＆スポーツ 代表取締役社長 小林利彦

POINT

こどもから高齢者までのスポーツ振興を通した
地域活性化に向けて自治体と協定を締結

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

ふなばし森のシティでの取組み

ふなばし森のシティでは、先進の技術や知識、ITネットワークを活かしながら、環境に配慮し、人と人をつなげる街づくりを目指し、船橋市により地区計画が策定され、緑にあふれ、多世代の暮らしを豊かにするまちを目指し進められました。約1,500戸の住宅に加え、商業施設、医療施設、保育施設を備え、道路と5つの公園・緑地を配置し、新たにこのまちに住まう住民だけでなく周辺地域にも貢献するような計画としています。

野村不動産

ふなばし森のシティ（2014年竣工）

POINT 先進技術の採用と住民参加型の街づくり

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

プラウドシティ日吉での取組み

プラウドシティ日吉では、“人生100年時代の住みたい街”をテーマに、多世代対応・多機能集約型の大規模な街づくりを実現しました。具体的な取組みとして、建設中の遊休地を活用して「吉日楽校」をオープンしました。工事現場の遊休部分を使い、既存樹木が残る約1,000㎡の土地を地域に開くことで、地域の方々を巻き込んだコミュニケーション拠点、新しくできる街づくりと地域の接点を作りました。

野村不動産

プラウドシティ日吉（レジデンスⅠ 2020年竣工・レジンデンスⅡ 2021年竣工・レジデンスⅢ 2022年竣工）

POINT

“まちの共用部”として誰にでも開かれたオープンコミュニティにより
まちと地域の新しい接点を創出

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

受 賞

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

オウカス世田谷仙川におけるウッドデザイン賞の受賞

- 広大な敷地開発の中心となる広場に向けて、地域に開かれた共用棟を持つ高齢者集合住宅として「グッドデザイン賞2024」を受賞
- 木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する「ウッドデザイン賞2024」を受賞
- アジアの不動産業界における権威あるアワードの一つ、MIPIM Asia Awards 2024において、BEST RESIDENTIAL PROJECTカテゴリーにて「GOLD」を受賞しました。

野村不動産　野村不動産ウェルネス

オウカス世田谷仙川　木造フィットネス・カフェ棟

POINT

地域に開いた施設に木を活用することで環境と融和する建築物になっている
さらにそこでの取組みが外部からも評価

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

木質サステナブルオフィス「野村不動産溜池山王ビル」

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2024

木使用量・使用率を最大化しCO_2削減を実現した環境配慮型オフィスビル「野村不動産溜池山王ビル」では、環境配慮とウェルネスな木質空間の創出の両立だけでなく、高効率な設備の導入等により標準ビル比50%以上の一次エネルギー消費量を削減し、ZEB Ready認証を取得しました。

備考：令和3年度 国土交通省のサステナブル建築物等先導事業（木造先導型）に採択／「ウッドデザイン賞2024」受賞（建築・空間分野/ソーシャルデザイン部門）／2024年度木材利用推進コンクール「内閣総理大臣賞」受賞（優良施設部門）／2024年度港区みなとモデル二酸化炭素固定認証制度「最優秀賞」受賞

野村不動産

野村不動産溜池山王ビル

POINT

木使用量・使用率を最大化し、高効率な設備により
CO_2を削減した環境配慮型オフィスビル

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

BLUE FRONT SHIBAURA（芝浦プロジェクト）

本社移転先の芝浦エリアにて、健康で快適なまちの創造をテーマに、次世代のテナントビルのあるべき姿とCO_2削減の両立に向けて、ウェルネスオフィスの実現、各種省エネ対策によるZEB Orientedの達成を図るとともに、再生可能エネルギー由来電力などの導入によって、カーボンニュートラルの実現を目指しています。

備考：国土交通省・令和3年度サステナブル建築物等先導事業（省CO_2先導型）に採択／crQlr Awards2024「Shoreline Shaper Prize」受賞

野村不動産

POINT

他企業と共同し、大規模複合開発における街区全体でのCO_2排出量実質ゼロ実現を予定

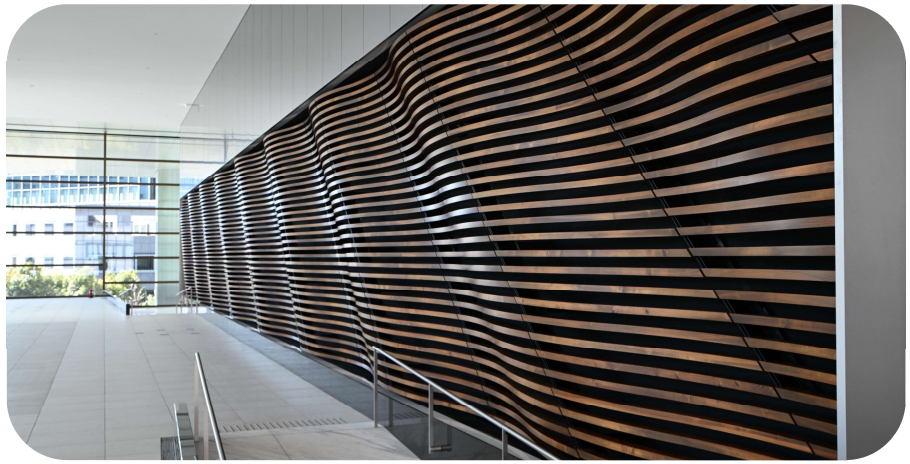
© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

森を、つなぐ東京プロジェクト

東京都奥多摩町にある約130haの森林を保有し、生物多様性を重視した管理方式の採用など適切な森林計画を実施することで、森林のCO_2吸収量増加、切り出された木材の利活用によりCO_2固定化に寄与しています。
また、自然環境と人間活動を総合的に取り扱い、課題解決を導き出す、「ランドスケープアプローチ」と呼ばれる手法で、自然と都市が持続的に共生するモデルケースを確立し新しい経済循環を創出しています。
備考：2024年第１回Tokyo-NbS アクションアワード」最優秀賞受賞／2024年度「グッドデザイン賞」受賞／「ウッドデザイン賞2024」受賞（コミュニケーション分野/ソーシャルデザイン部門）／2024年林野庁「森林×ACTチャレンジ」優秀賞（林野庁長官賞）受賞（森林づくり部門）

野村不動産グループ

野村不動産グループが保有する「つなぐ森（東京都西多摩郡奥多摩町）」



BLUE FRONT SHIBAURAの共用部・内装部材につなぐ森の木材を利用

POINT

自社保有林の生物多様性に適した管理、
木材の有効活用を通してCO_2吸収、固定化を促進

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

教育プログラムでのコミュニケーション

GOOD DESIGN AWARD 2024

まちと子供たちの新たな関係をつくる教育プログラムを開発しました。

- 「まちをみるめ」は、小学校での出張授業を通じて、まちへの興味や関心を育み、まちの中の大切なものをいっしょに考えていきます。
- 「まちおに」では、慶応義塾大学大学院と共同研究で開発した、参加者みんなで楽しめる地域の鬼ごっこを実施しています。
- 「街の推し」には、埼玉大学と共同研究した、地域の魅力を再発見するプログラムです。本取組みには野村不動産ソリューションズ武蔵浦和センターも参加しました。

備考： 2024年度「グッドデザイン賞」受賞

野村不動産　野村不動産ソリューションズ

POINT

子供とまちの関係を作るプログラムにより
地域を活性化

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

BE UNITED構想と具体的な仕組みとして「ACTO」の導入

GOOD DESIGN AWARD 2023

マンション事業などを通じて培われてきた“地域や住民の声を聞く力”を発揮しながら地域密着・住民が主体の街づくりを行っています。BE UNITED構想は「ふなばし森のシティ」が転機となり生み出され、その後第1号案件の「プラウドシティ日吉」、第2号案件の「亀戸プロジェクト」そして「BLUE FRONT SHIBAURA」へとつながります。
備考：2023年度「グッドデザイン賞」受賞

野村不動産

世田谷体験農園

GEMS 広尾クロス（EAT PLAY WORKS）

POINT

まちにコミュニティを作り、
地域に愛着と活動が生まれる仕組みを創出

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

外部評価・イニシアチブ

外部評価

GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG銘柄

すべて野村不動産ホールディングス

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

「MSCI 日本株女性活躍指数」に選定

FTSE Blossom Japan

「FTSE Blossom Japan Index」に選定

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に選定

MORNINGSTAR GenDi J
Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
TOP CONSTITUENT 2024

「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」に選定

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

「S&P/JPXカーボンエフィシェント指数」に選定

「FTSE4Good Index Series」に選定

FTSE4Good

CDP気候変動

CDP
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

CDP気候変動
「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定

Supplier Engagement Leader
CDP
2024

SNAM
サステナビリティ・インデックス

2024
Sompo Sustainability Index

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

環境における表彰など

「エコアクション 21」（環境マネジメントシステム）認証・登録

エコアクション21
認証番号 0012949

エコアクション21
認証番号 0013469

MASTER FUND
野村不動産マスターファンド投資法人

野村不動産プライベート投資法人
NOMURA REAL ESTATE PRIVATE REIT, INC.

GRESB リアルエスティト評価、開示評価

GRESB ★★★★☆ 2024

・野村不動産プライベート投資法人
・野村不動産マスターファンド投資法人

GRESB Public Disclosure 2024

・野村不動産ホールディングス
・野村不動産マスターファンド投資法人

社会における表彰など

「健康経営優良法人」に認定

2025 健康経営銘柄
KENKO Investment for Health

・野村不動産ホールディングス

2025 健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

・野村不動産ホールディングス
・野村不動産
・野村不動産投資顧問
・野村不動産ソリューションズ
・野村不動産ライフ&スポーツ
・野村不動産パートナーズ
・プライムクロス
・野村不動産コマース
・野村不動産ホテルズ

2025 健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門

・野村不動産熱供給
・野村不動産ウェルネス
・野村不動産アメニティサービス
・ファーストリビングアシスタンツ

2025 健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

・野村不動産ホールディングス
・野村不動産ソリューションズ
・野村不動産
・野村不動産投資顧問
・野村不動産ライフ&スポーツ

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

社会における表彰など

PRIDE指標で「ゴールド」「シルバー」を受賞

work with Pride Gold 2024

- 野村不動産ホールディングス
- 野村不動産
- 野村不動産投資顧問
- 野村不動産ソリューションズ
- 野村不動産ライフ&スポーツ

work with Pride Silver 2024

- 野村不動産パートナーズ

グッドデザイン賞 23年連続受賞

GOOD DESIGN AWARD 2024

- 野村不動産

イニシアチブ

国連グローバル・コンパクトに署名

WE SUPPORT UN GLOBAL COMPACT

- 野村不動産ホールディングス

責任投資原則に署名

Signatory of: PRI Principles for Responsible Investment

- 野村不動産投資顧問
- Lothbury Investment Management

RE100に加盟

RE100 CLIMATE GROUP | CDP

- 野村不動産ホールディングス

SBT（Science Based Targets）認定を取得

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

- 野村不動産ホールディングス
- 野村不動産投資顧問

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

イニシアチブ

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に賛同

・野村不動産ホールディングス
・野村不動産投資顧問

気候変動イニシアティブへ参加

・野村不動産投資顧問

「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」に署名

・野村不動産投資顧問

UK Green Building Council（GBC、英国グリーンビルディング協会）メンバー

・Lothbury Investment Management

自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）フォーラムへの参画

・野村不動産ホールディングス

「生物多様性のための30by30（サーティ・バイ・サーティ）アライアンス」への参加

・野村不動産ホールディングス

経団連「生物多様性宣言・行動指針」への賛同

・野村不動産ホールディングス

不動産協会 「不動産業界における環境自主行動計画」の支持

・野村不動産
・野村不動産ソリューションズ

NZAM（Net Zero Asset Management Initiative）への署名

・野村不動産投資顧問

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

方針類で賛同している国際的文書

野村不動産グループ 人権方針

- 「国際人権章典」（「世界人権宣言」、「市民的及び政治的権利に関する国際規約」「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」）
- 「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」
- 「国連グローバル・コンパクトの10原則」
- 「子供の権利とビジネス原則」

野村不動産グループ 生物多様性方針

- 「昆明・モントリオール生物多様性枠組」

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

数字で見るサステナビリティ

項目　2025年3月期実績

多様な人材の活躍促進

女性マネジメント
職層比率※1・2

18.9%

多用な働き方の促進

男女育児休業
取得率※2

103.1%

うち男性育児休業
取得率※2

102.3%

インクルーシブデザインの商品・サービスの提供

インクルーシブデザインの
商品・サービスの提供

2回の体験会実施
（計68名参加）

1on1ミーティングの実施率

1on1ミーティングの
実施率

83%

※1 マネジメント職層比率：女性管理職数＋女性管理職候補数／全管理職数＋全管理職候補数
※2 国内連結子会社のみを対象としています。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

CO_2排出量削減目標

Scope1,2 ※3

2030年まで削減目標

（2019年度比）

（2025年4月SBT認定取得済）

▲60.0%

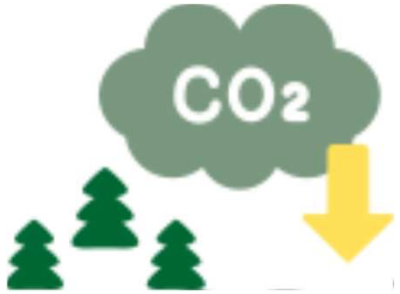
Scope3 ※4

2030まで削減目標

（2019年度比）

（2025年4月SBT認定取得済）

▲50.0%



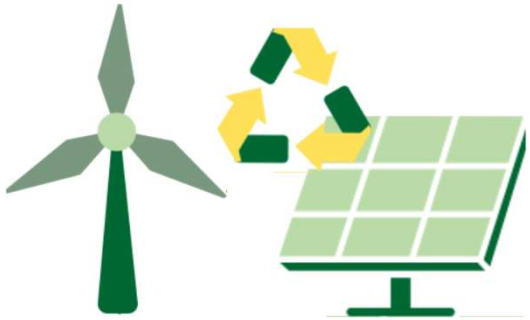
再生可能エネルギーの導入

新築物件における

省エネルギー性能指標 ZEH/ZEB oriented水準を確保

（BEI値の達成）※5

達成



※3 Scope1：燃料の燃焼などの直接排出量　Scope2：自社で購入した電気・熱の使用に伴う間接排出量。基準年としている2019年度の排出量は、3,518千t-CO_2。
※4 Scope3：Scope1・2以外の間接排出量。基準年としている2019年度の排出量は、3,518千t-CO_2。 Scope3については、カテゴリ1（建物の建設時等）およびカテゴリ11（販売した商品の使用時）を対象としており、2019年度実績で、Scope3の約94.21%をカバーしています。
※5 2030年までにZEH/ZEB oriented水準を確保するために、単年度ごとに達成すべきBEI値※を設定。同値の達成度を計測。
※ BEI値：Building Energy-efficiency Indexの略。建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）の省エネ基準に基づく、建築物の省エネルギー性能を評価する指標。建築物の一次エネルギー消費量の水準を示す。

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.

編集方針

サステナブルアクション事例集 編集方針

野村不動産ホールディングスは、野村不動産グループのサステナビリティに関わる取組みをステークホルダーのみなさまに理解していただくとともに、社内外の方々とのコミュニケーションを図り、取組みの向上につなげていくことを目的として本事例集を発行しています。

「サステナブルアクション事例集」は、ステークホルダーのみなさまにとって関心の高い内容や、野村不動産グループがお伝えしたい内容を、親しみやすく、読みやすくまとめています。一方、「みんなで、つなぐ！」プロジェクトのサイト（https://www.minnade-tsunagu.com/）では、野村不動産グループが行っているサステナビリティに関連した取組み、最新情報などについて、年間を通して発信しています。

公式サイト
https://www.nomura-re-hd.co.jp/

統合レポート
https://www.nomura-re-hd.co.jp/ir/ir_library/annualreport.html

サステナビリティレポート
https://www.nomura-re-hd.co.jp/sustainability/download/

対象期間
2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の取組みを中心に、一部、過去の経緯や2024年4月1日以降の活動、将来の活動予定についても記載しています。

商標について
本冊子に記載されている社名・製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

免責事項
本冊子には野村不動産グループの過去と現在の事実だけでなく、発行時点において入手できた情報に基づいた計画や予測が含まれています。
諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象がこの計画や予測とは異なったものとなる可能性があります。
なお、本文中の組織名・役職名などは活動や取材が行われた当時のものです。

「サステナビリティアクション事例集」に関するお問い合わせ先
野村不動産ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部
Email: hd-sus@nomura-re.co.jp
〒105-8340 東京都港区芝浦一丁目１番１号BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S

© Nomura Real Estate Holdings, Inc.